

～院長コラム～

『 予防的には抗生剤は飲まない 』

医師「ノドが赤いですね」、…、正解

医師「カゼですね」、…、正解

医師「抗生剤出しますね」、…、？

これでいいの？

医師「カゼですね」、…、正解

医師「バイキンが入るといけないから抗生剤出してくね」、…、？

こういう場面は外来でよく聞かれる会話ではないでしょうか？

それ本当？って聞き返してください。

カゼですねと言った時点で、抗生剤が効かない感染症、例えばウイルスが一番多いのですが、とりあえず抗生剤が要らないよねと宣言していることと同じではないですか？

中には、ヘルパンギーナですねと言って、抗生剤を出されたかと相談がありました。

夏カゼの代表選手のヘルパンギーナだと診断がついたら、原因はコクサッキーウイルスかエンテロウイルスですから、自分で治してねと宣言しているのです。

そこに抗生剤を出す理由はありません。

発熱の原因が、今日は溶連菌だね、とかブドウ球菌だね、とか大腸菌だねと確信できれば、うちでも病気の初期からガンガン抗生剤を処方します。

場合によっては、抗生剤入りの点滴をするために連日通院してもらうこともあります。

うちのクリニックは、ここ10年間で抗生剤の処方量は10分の1程度に減りました。それでも患者さんは治っていきます。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2015年12月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

